

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	廃校・空き家と耕作放棄地を活用した田舎体験プロジェクトによる都市農村交流と人口定住
対象地域	山口県下関市菊川町豊東東部 樅の木・道市・轡井集落
対象地域の概要	・樅の木・道市・轡井集落は、下関市菊川町の山間谷間に位置する。 ・下関市中心市街地まで車で約25km、美祢西IC、小月ICまで車で7～8分。 ・人口145人、55世帯の小規模集落である。 ・集落の高齢化率は47.5%と高く、人口減少・高齢化が進み、空き民家や担い手不足による耕作放棄地が目立っている。   【山口県内位置図】 【集落周辺図】    【ボランティアで再生した空き民家の外観】 【廃校になった轡井小学校分校】 【棚田】
提案内容の概要	廃校と周辺に点在する空き家及び耕作放棄地を活用した田舎体験プロジェクトを実施し、活動拠点（廃校）から集落全体へと交流圏域を拡大することにより、住民参加による活気にあふれた田舎空間を創生するとともに、Uターンを受け皿づくりと人口定住を促進することを目的としている。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	H20年度事業により、以下の4つの課題が明らかになった。 1) 夏休みを中心に地域塾を実施したが、夏休み以外にも定期的に都市住民が集落を訪れる仕組み作りを進めていかなければならない。また廃校を拠点に地域塾を実施したが、屋外空間（運動場）については積極的に利用されているが、屋内空間（教室）についてはまだ利用頻度が低く、屋内を利用するための整備が必要である。 2) 地域塾は日帰りであったため、都市住民に地域のことをより深く知ってもらうためには、滞在時間を延長するようなプログラムが必要である。そのためには滞在施設が必要であるが、空き民家1軒の実測調査及びボランティアによる補修を実施したが、宿泊利用に向けては台所・浴室の設備改修が必要である。 3) 空き民家は他にも4～5軒確認されており、それらの実測調査及び貸出に向けての検討が必要である。貸出に向けては、都市住民が気軽に空き家情報を閲覧できるサービスが求められる。 4) 耕作放棄地のマップを作成した結果、耕作放棄地にはすぐに使えそうなものから、既に農地から外れており耕作可能な状態にするには相当の労力が必要なもの、耕作が不可能なものまでレベルが様々であることが判明した。よって、レベルに合わせた整備・活用方法を検討する必要がある。
(2) 活動内容の案	活動①：廃校での地域塾の定期的な開講 内容： 会員や地域団体、大学生らが講師となり、夏休みに下関市内の子供や集落出身の親子を対象とした地域塾を開講する。具体的には、H20年度に開講した筍掘り・田植え・稲刈り・芋掘り・餅つきといった年間を通したイベントと、夏休みに週1回ペースで開講した植物や昆虫等の自然観察、山登り、昔の炭

	鉾跡の探検、竹を利用した竹細工やランプづくりが好評だったため、H21 年度も継続して行う。それに加えて釜戸でご飯を炊く田舎料理体験や、夜間の星空観察など、宿泊体験とも連動したメニューを増やし、集落へ足を運ぶ機会を増やすとともに、滞在時間の延長を狙う。
	活動②：再生した民家での田舎宿泊体験
	内容： H20 年度に再生した空き民家「貴和の宿」を拠点とし、子供を対象とした 1 泊 2 日の宿泊体験を実施する。具体的なメニューは地域塾と連動させ、それに加えて茅葺き民家に泊まって囲炉裏を囲んで食事をする、五右衛門風呂に入るなど昔の人の暮らしを体験してもらう。希望する父兄は一緒に泊まってもらい、スペースが足りない場合には廃校も利用する。夏休み以外にも希望者を募って、ファミリーや友達家族、大学生同士など、多世代のグループに宿泊体験が利用され、都市と農村の交流の場となるようホームページやチラシ等を媒体として積極的な情報提供を行う。
	活動③：空き家バンクの立ち上げ
	内容： H20 年度に収集した集落内の空き家情報をもとに、所有者に対して貸出・売却の可否の調査を行う。貸出・売却意向のあった物件について大学の協力を得て実測調査を行い、基本図面の収集及び活用に向けての改修の必要性の有無の判断をする。改修が必要な場合はさらに詳細調査を行い、具体的な改修計画の提案を行う。これらの調査結果と所有者の希望家賃・契約期間等の情報を整理し、ホームページ上に「空き家バンク」を立ち上げ、都市住民が物件を閲覧できるサービスの提供を行う。
	活動④：農地バンクの立ち上げ
	内容： 農地バンクの立ち上げについては、以下の手順で行う。 1) H20 年度に収集した耕作放棄地のマップと所有者の貸出意向のデータベースをもとに、早期に活用が可能と考えられる田畑を選定し、農地利用計画の検討を行う。 2) 選定した農地を会で借り上げ、草刈りや耕運を行い、どのような作業を施せば耕作放棄地が再び農地として復活できるかどうか、実験的取り組みを行う。 3) 以上のような活動を実施した結果、貸出可能な状態に農地が再生された場合には、棚田オーナー制度を導入して都市住民に対して農地の貸出しができる仕組みを「農地バンク」の立ち上げを含めて検討する。
応募団体名	貴和の里につどう会
リンク	
部局／担当者名	貴和の里につどう会 事務局
連絡先	〒750-0305 山口県下関市菊川町轡井392 岡本 雅 E-mail qqfw3u59@dolphin.ocn.ne.jp
推薦市町村名	山口県下関市